

糖脂質への介入による” 疲れないT細胞” の作り方

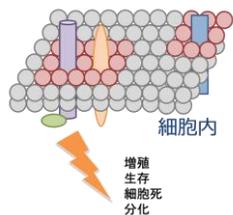
Glyco-lipids modulates immune checkpoint and cancer-immunity

永根 大幹 講師
麻布大学 獣医学部 生化学研究室

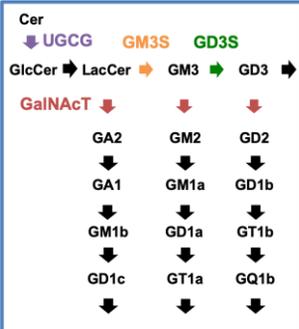
Masaki Nagane / Assistant Professor
School of Veterinary Medicine / Laboratory of Biochemistry

糖脂質は免疫応答を制御する

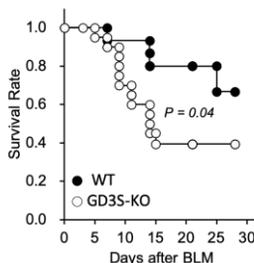
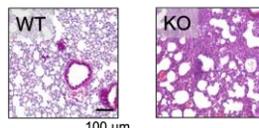
足場仮説
脂質ラフトにより、
膜タンパク質の感受性及機能が制御される



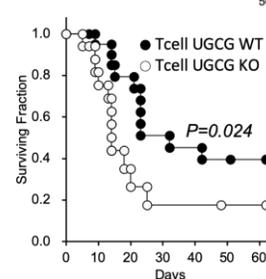
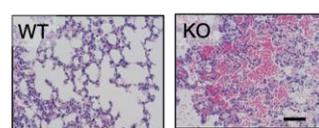
Ganglioside Synthesis Pathway



Bleomycin-induced pneumonia Model

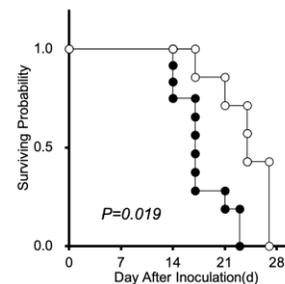
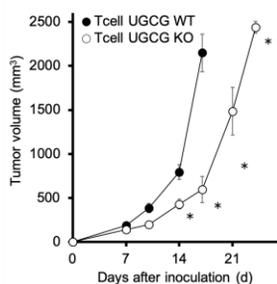
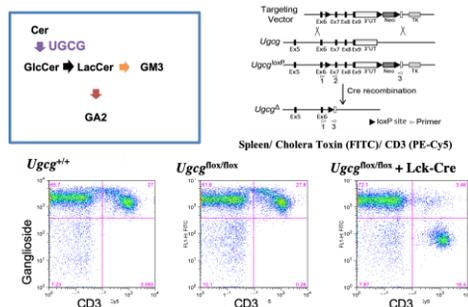


Pristan-induced SLE model

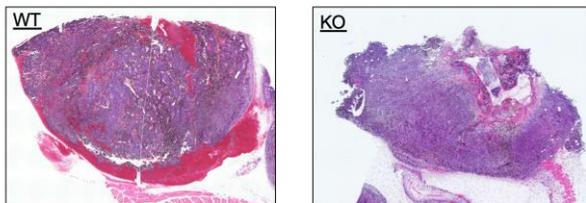


仮説: T細胞における糖脂質への介入により、腫瘍免疫の賦活化できるのではないか。

T細胞特異的UGCG欠損マウスは腫瘍耐性である



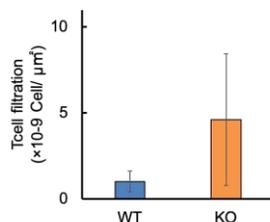
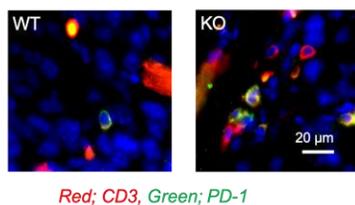
T細胞特異的UGCG欠損によりT細胞の腫瘍浸潤が増加する



T細胞特異的な糖脂質の欠損により、
腫瘍免疫の賦活化および抗腫瘍作用が得られた。

今後の展開

CAT (CD3-Activated T lymphocyte) 療法



T-cell Isolation

CAT療法

